

ようこそ三井造船へ

2008年3月期 中間決算説明

学習と進化

2007年10月31日



MES

三井造船株式会社

中間連結決算の概要

(単位：億円)

	06中間	07中間 予想	07中間	06年度	07年度 予想
受注高	3,628	/	4,441	8,162	/
売上高	2,739	2,850	2,908	6,228	6,300
営業利益	26	120	142	207	330
経常利益	11	110	129	186	280
中間(当期) 純利益	2	45	42	194	130

* 07中間予想および07年度予想については、
07年7月31日発表の修正予想数値

* セグメント別07年度予想については最新情報

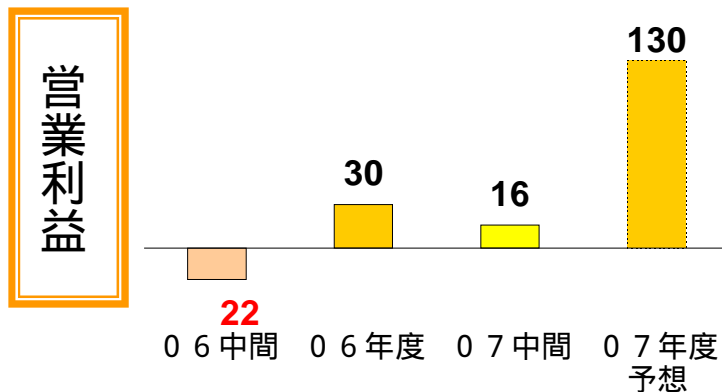
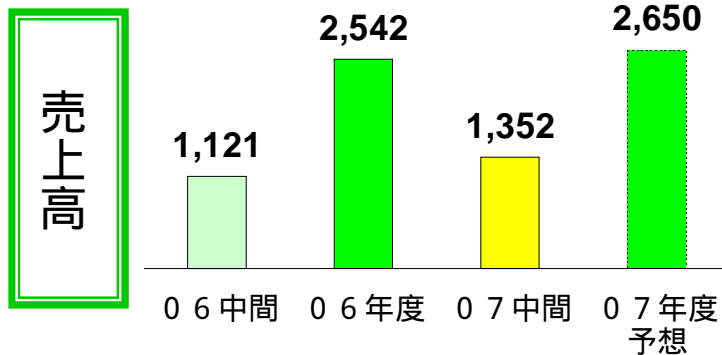
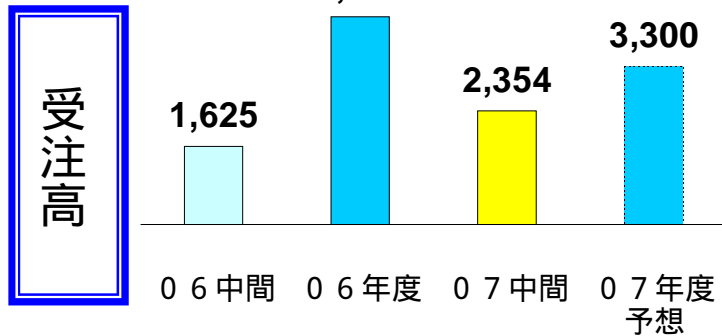
受注高	07年度 期初予想	07年度 予想
船 舶	2,500	3,300
鉄 構 建 設	600	600
機 械	1,750	1,750
プ ラ ン ト	900	900
そ の 他	250	250
合 計	6,000	6,800

売上高	07年度 期初予想	07年度 予想
船 舶	2,600	2,650
鉄 構 建 設	600	600
機 械	1,750	1,800
プ ラ ン ト	900	1,000
そ の 他	250	250
合 計	6,100	6,300

営業利益	07年度 期初予想	07年度 予想
船 舶	110	130
鉄 構 建 設	15	15
機 械	160	195
プ ラ ン ト	15	25
そ の 他	20	15
合 計	320	330

中間連結決算の概要－船舶部門

(単位：億円)



好調な海運市況を受けて
採算を重視した受注を継続

受注高

- ・ 採算重視 56BCを中心に展開
- ・ 好調な市況が継続

通期予想を上方修正

単体実績 (隻数)	06 中間		07 中間		06 年度	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
56BC	10	10	11	8	30	22

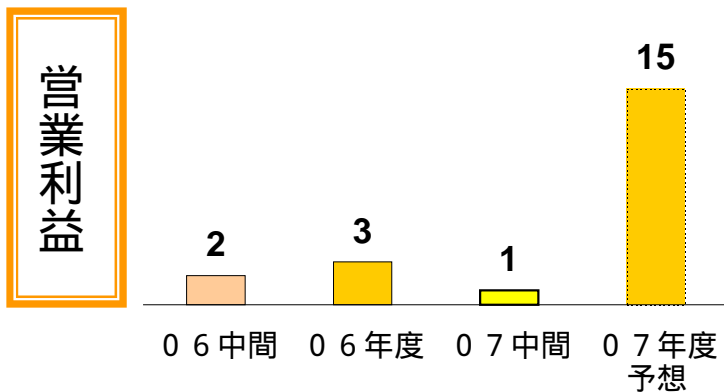
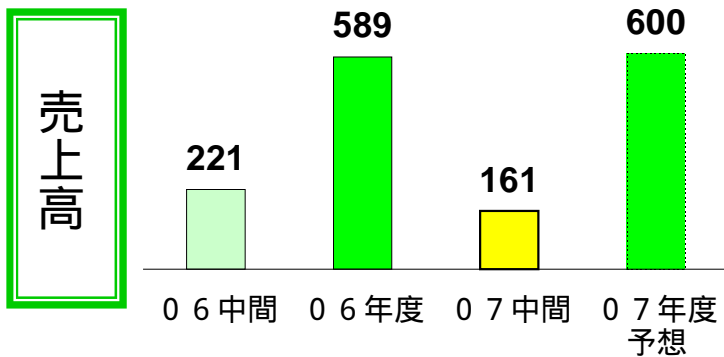
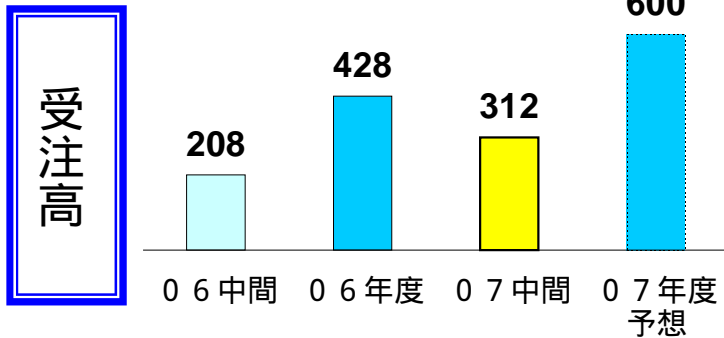
売上高 / 営業利益

- ・ 56BCの連続建造による効率化や、為替の円安効果 損益改善
- ・ 今年度に鋼板切断能力を増強し、鋼板加工を内製化

損益改善効果は来年度以降

中間連結決算の概要－鉄構建設部門

(単位：億円)



活況なコンテナクレーン市場

受注高

前年同期比

- ・ 中間期で約 50% 増加
- ・ 通期では約 40% 増加

600 億円を見込む

実績 (基数)	06 中間		07 中間		06 年度	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
ポーターナ	4	1	2	4	10	9
トランステーナ	20	8	83	9	25	21

コンテナクレーン受注基数は通期で、ポーターナ 25 基、トランステーナ 100 基を予想

売上高 / 営業利益

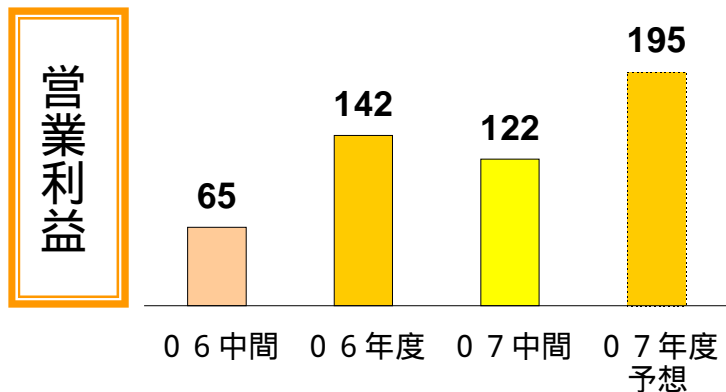
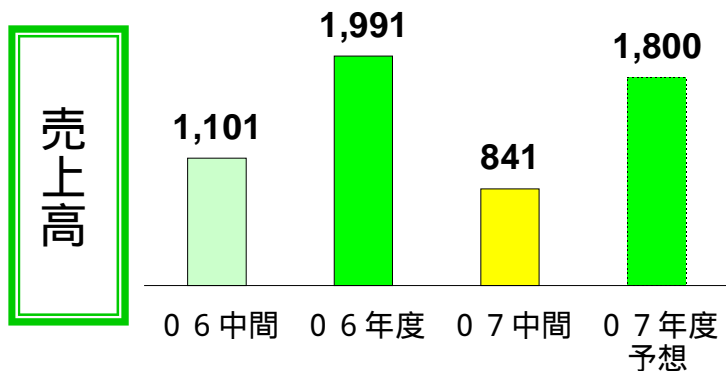
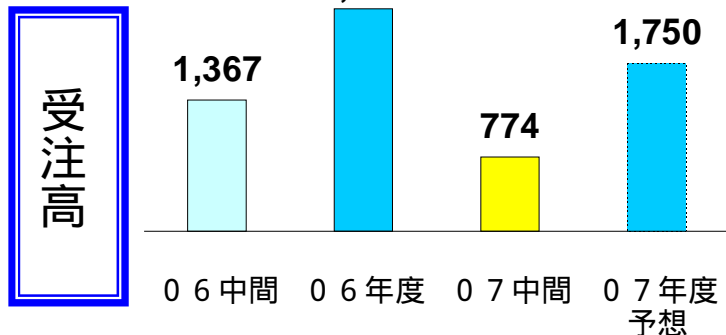
- ・ 中間期は前年同期比微減 公共工事関連の減少
- ・ 通期では前年同期比同水準の 600 億円を維持

その他

- ・ コンテナクレーン増産体制への投資完了
- 生産能力
- | | |
|---------|----------|
| ポーターナ | 20 基 / 年 |
| トランステーナ | 80 基 / 年 |

中間連結決算の概要－機械部門

(単位：億円)



船用ディーゼル機関が順調に推移

受注高

- ・船用ディーゼル機関と産業機械が好調
通期予想達成に向けて順調に推移

実績	06 中間		07 中間		06 年度	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
基数	53	72	70	88	156	154

売上高 / 営業利益

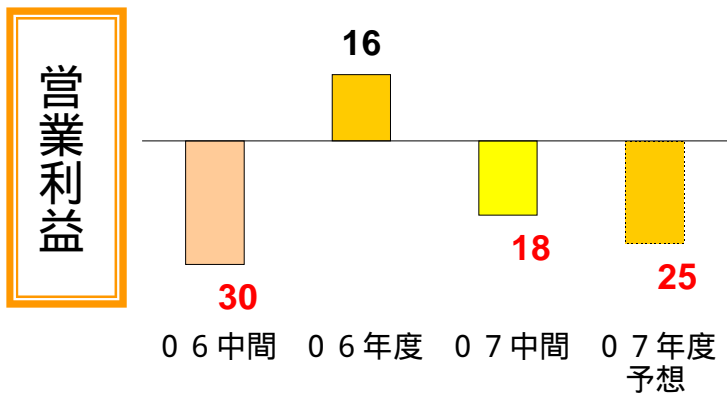
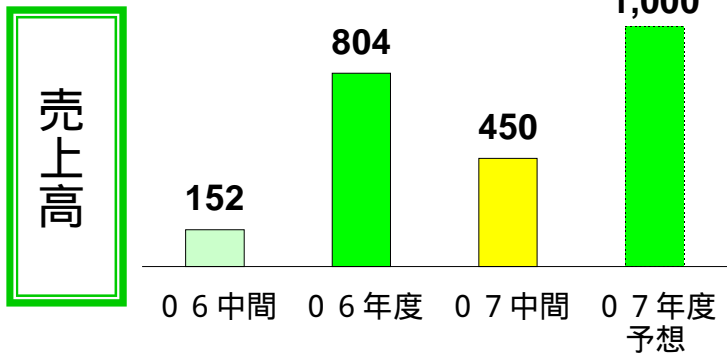
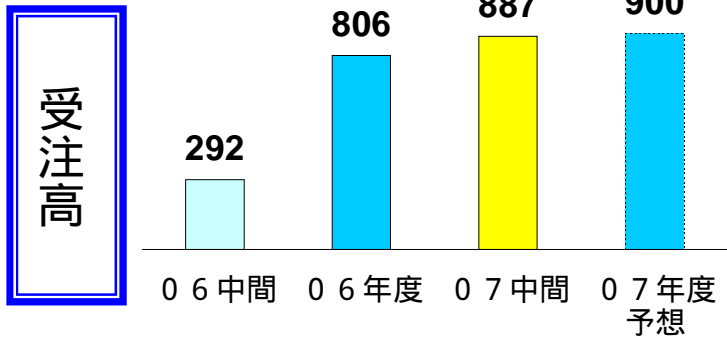
- ・船用ディーゼル機関の増産と生産性改善により、
堅調に推移
- ・産業機械および各種メンテナンス工事も好調

その他

- ・船用ディーゼル機関は年間生産量で過去最高の
460万馬力を達成見込み
- ・前年同中間期を比較する際には、英国子会社売却の
影響を考慮する必要がある
英国子会社売却の影響を除けば、
受注高の前年同中間期比は実質104億円増加
売上高の前年同中間期比は実質187億円増加

中間連結決算の概要ープラント部門

(単位：億円)



化学プラント分野が堅調に推移

受注高

- ・ 東南アジア向けに、石油化学プラントを受注
- ・ 前年同中間期比 595 億円増加
- ・ 過去の実績が評価 受注獲得

売上高 / 営業利益

- ・ 石油化学プラントにおける、進行基準工事の進捗が堅調
- ・ 環境および原子力分野の、受注不振に伴い工事量が不足

中間連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

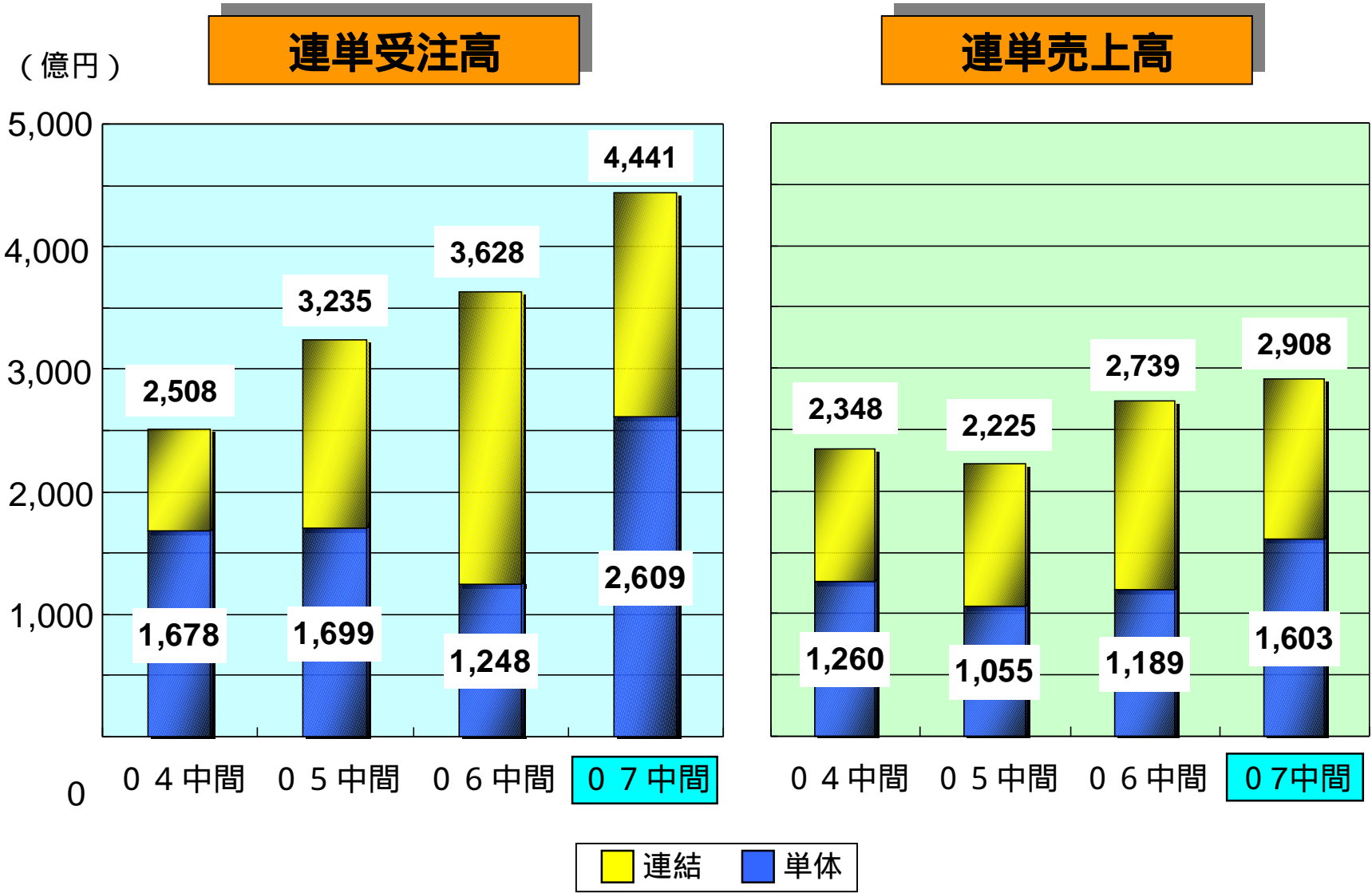
	06期末	07中間	増減		06期末	07中間	増減
流動資産	(3,697)	(3,663)	(35)	支払手形・買掛金	1,406	1,426	20
現預金	771	455	316	前受金	1,013	1,245	233
受取手形・売掛金	1,193	1,295	102	有利子負債	1,850	1,849	1
棚卸資産	880	1,130	250	その他	1,108	939	169
短期貸付金	473	320	153	負債合計	(5,376)	(5,459)	(83)
その他	380	462	82	資本金	444	444	0
固定資産	(3,337)	(3,516)	(179)	資本剰余金	182	182	0
有形固定資産	1,930	2,053	123	利益剰余金	387	402	15
無形固定資産	183	199	16	自己株式	4	5	2
投資有価証券	755	808	52	評価・換算差額等	409	446	37
長期貸付金	178	223	45	少数株主持分	240	250	10
その他	291	233	58	純資産合計	(1,658)	(1,719)	(61)
合計	7,034	7,178	144	合計	7,034	7,178	144

中間連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	06中間		07中間		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	2,739	(100.0%)	2,908	(100.0%)	169
売上原価	2,541		2,566		
売上総利益	198		342		
販売費及び一般管理費	171		200		
営業利益	26	(1.0%)	142	(4.9%)	115
営業外収益	37		42		
営業外費用	52		54		
経常利益	11	(0.4%)	129	(4.4%)	117
特別利益	0		0		
特別損失	3		36		
税引前利益	8	(0.3%)	93	(3.2%)	84
法人税、住民税及び事業税	29		32		
法人税等調整額	23		11		
少数株主利益	4		7		
当期純利益	2	(0.1%)	42	(1.5%)	44

連単受注高・売上高推移



中間連結決算部門別の概要

(単位：億円)

	0 6 中間		0 7 中間	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
船 舶	1,121	22	1,352	16
鉄 構 建 設	221	2	161	1
機 械	1,101	65	841	122
プ ラ ン ト	152	30	450	18
そ の 他	144	11	104	21
合 計	2,739	26	2,908	142

0 6 年度		0 7 年度 予想	
売上高	営業利益	売上高	営業利益
2,542	30	2,650	130
589	3	600	15
1,991	142	1,800	195
804	16	1,000	25
302	16	250	15
6,228	207	6,300	330

中間連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	06中間	07中間	06年度	07年度 期初予想	07年度 予想
営業活動による キャッシュ・フロー	204	119	679	100	120
投資活動による キャッシュ・フロー	122	258	270	290	190
財務活動による キャッシュ・フロー	129	68	266	190	135
有利子負債	1,968	1,849	1,850	1,690	1,750

07年度キャッシュ・フローは、
運転資金の増加を見込むが、有利子負債圧縮は継続

有利子負債残高と支払利息の推移

